佐渡市立河原田小学校　　令和５年度　第９号

河小だより

校区内
全戸回覧

１１月３０日発行

『ちょボラ』の勧め

校長　　野上　孝

ある日の２０分休みのことです。大勢の子どもたちが体育館で楽しそうに遊んでいます。ドッジボールをする子、鬼ごっこをする子、バスケットボールで遊んでいる子・・・。さて、もうすぐ休み時間も終わりとなる頃、子どもたちは時計を見て次の授業に間に合うように教室に戻り始めました。もちろん、使ったボールなどは所定の場所にきちんと片付けています。

私は、何気なく用具室の中を覗いてみました。すると、ある子がバスケットボールやドッジボールの棚を整頓し直しています。よ～く見ると、比較的空気の入っているボールとそうでないものとを、おそらく次の人が使いやすいようにと分けているようでした。その子は体育委員会の子ではありません。当番の子でもありません。決して誰かに頼まれたわけではなく、あくまでも自主的に、自分で考えてやっていたのです。その時思いました。「これって、もしかして『ちょボラ』？ こんな素敵なことができる子がいることを全校のみんなに紹介したいな・・・。」

そこで、２８日の全校朝会でスライドを使いながら『ちょボラ』の話をしました。

（～全校朝会の話の概要～）

『ちょぼら』とは「ちょっとボランティア」の略です。自分で考えて、ちょっと人の役に立つこと。それをすると心がポッとあたたかくなること。そんなことをすることです。他の学校でも行われている『ちょボラ』を紹介しますね。ある学校では落ち葉を集めている子どもがいるんですよ。

さて、『ちょボラ』にはレベルがあります。

- レベル１：先生や周りの人に頼まれてする
- レベル２：友達や先生の真似をして始める
- レベル３：自分で考えて始める

【整頓されたボール棚】

今の世の中、「自分だけがよければよい」という考えの人もいます。でも、みんなが助け合いながら住みよい世の中にしていくことが大切です。そんな人になってほしいです。みんなにもできそうなことがありますよ。（できそうなことを紹介）

実は、うちの学校（河原田小）でも、２０分休みにボールの棚の整頓をしている人がいました。これは、次の人が使いやすいようにと・・・ ～略～

河原田小には素敵な子がいます。これからも『ちょボラ』のできる子が増えるとうれしいです。